

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気候変動下での大規模水害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発		担当部局庁	国土技術政策総合研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H22/H25		担当課室	河川研究部		部長 藤田光一	
会計区分	一般会計		施策名	41 技術研究開発を推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	国土交通省設置法第4条124号 国土交通省組織令第193号		関係する計画、通知等	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変動への適応策のあり方について(答申)」社会資本整備審議会(平成20年6月)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気候変動下での水害に対する適応策として、水災害リスクの低減に主眼を置き、従来の河川整備にとらわれず流域に踏み出す新たな施策も視野に入れるとともに、流域ごとの実態や過去の施策の積み重ねを踏まえて、かつ所定の期間内に実践できる実現性の高い施策オプションを選定・選択するための基盤技術を開発し、気候変動への適応策の実現を強く推進することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)流域ごとの実態や実現可能性を踏まえた実務に使える施策オプションの拡充、(2)整備目標を超過する洪水時の被害低減効果を算定できる水災害リスク評価手法の開発、(3)従来の河川整備では必ずしも考慮されていなかった被害内容を制御する視点も取り入れて、タイプの異なる流域ごとに、各種施策オプションが効果を発揮する具体条件の解明を行い、気候変動下での水害に対する適応策としての施策オプションを設定・選択するための基盤技術としてとりまとめる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	-	13	13	12	12
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	13	13	12	12	
	執行額	-	12	12	-	-	
執行率(%)	-	89.9%	96.1%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	定量的な成果目標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。	成果実績					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業では技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができない。	活動実績(当初見込み)				-	
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	試験研究費	11	11				
	職員旅費	1	1				
	計	12	12				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、国総研が実施すべきという評価を得た上で研究に着手した。 【評価結果】 本研究は、気候変動に対する適応策のための研究として非常に重要な研究であり、国土技術政策総合研究所において重点的に実施すべきと評価する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先（業務請負者）選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいた。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握した。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止した。また、主たる部分以外の再委託は、軽微なものを除いては、再委託承諾申請を求め、支出先・使途を確認することとしている。なお、本事業においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始前に外部有識者による「効率性（研究の実施方法、実施体制）」、「有効性（成果の見込みと活用方針）」等の評価項目に関する『事前評価』を受けており、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評価』を受けることとしている。 ・H24年度については、複数の気候変動適応策の組み合わせ効果について検討した。今後は、今までの検討結果を事業への適応のためのガイドラインにまとめる予定。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・外部有識者による評価委員会において「必要性（研究の背景を踏まえた研究の必要性）」、「効率性（研究の実施方法・体制の妥当性）」、「有効性（研究成果の見込みと成果の活用方針）」に関する『事前評価』を受け、研究に着手した。 ・本事業は、外部有識者による「事前評価」において、国総研が実施すべき課題であると評価された。 ・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受ける。 ・支出先の選定については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めた。 ・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行い、的確な執行に努めた。 ・また、委託先の選定にあたっては第三者機関である技術提案審査委員会による審査を行うこととしており、的確な予算の執行に努めている。 <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 年度末の所内評価の結果や業務発注にあたっての所内審査の指摘を踏まえ、適切に研究の実施・進捗管理を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業効果の検証やコスト削減の取組について、全研究共通の取組を述べるのみでは不十分。個々の研究ごとの取組と成果をレビューの中で具体的に明らかにすること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	<p>昨年度までに気候変動に対する各種施策オプションの被害低減効果の算定が完了しており、最終成果の取りまとめに向け着実に進捗している。事業の進捗については、年度末に当該年度の研究成果等を内部評価委員会で確認することとしており、引き続きこのような事業の進捗管理を行っていく。本事業により得られる最終成果は「洪水に関する気候変化の適応策検討ガイドライン」に反映予定であり、成果が広く活用されることが期待される。また、今後も価格競争や企画競争により競争性・透明性を確保していく。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0412

※平成23年度実績を記入

国土技術政策総合研究所
12百万円

（ 気候変動の影響評価・対策検討に関
する研究企画立案・成果活用の検討 ）

【随意契約（簡易公募型プロポーザル方式）】

A.（株）建設技術研究所
12百万円

（ 気候変動への適応策の効果の解析 ）

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

A.(株)建設技術研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	気候変動への適応策の効果の解析	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	河川区域に講じる気候変動適応策の効果に関する調査業務	12	随意契約 (企画競争)	99.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					